

たかちほ

議会だより

2026
令和8年

10.23

No.132



- P2 7年度実質単年度収支は黒字
- P6 高千穂峡落石対策や喫煙所整備
- P14 届け町民の声 議会報告会
- P15 高千穂鉄橋は登録有形文化財へ

「たかちほスイミングクラブ10周年」

撮影:保護者一同

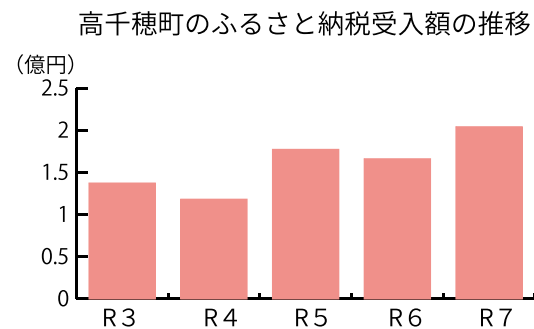
たかちほスイミングクラブが10周年を迎えました。

記念行事には一期生も集まりました。



会議録はコチラ

7年度のふるさと納税過去最高 8年度の目標値は更なる更新へ



前期同様に、新たな商品開発・販路拡大に努め寄付金増額に取り組みました。当初予算時の目標額1億8,000万円に対し2億3,988万円となり、目標はクリアしたものの、さらなる努力が求められます。令和8年度はさらなる工夫とアイデアを出し合い、寄付額の増加が期待されます。

9000万円を各種事業に充当

少子高齢化対策 充当額 3,630 万円

農林業の振興 充当額 210 万円

観光の振興 充当額 1,400 万円

教育の振興 充当額 1,127 万円

その他 充当額 2,633 万円

寄付額から経費を差し引いた1億3,550万円をふるさと納税の基に積み立てました。また、積み立てられた基金から、令和7年度に実施した、各種事業の財源に充てられました。

ふるさと納税の寄付金を充当した事業の一例



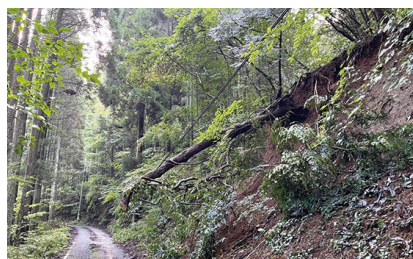
新規購入した机・椅子



ファーマーズスクール研修



ふれあいバス



光ケーブル支障木 (上野・王農内)



天岩戸保育園

高千穂出身の方はもちろん、全国の皆さま方のご支援に感謝

7年度決算

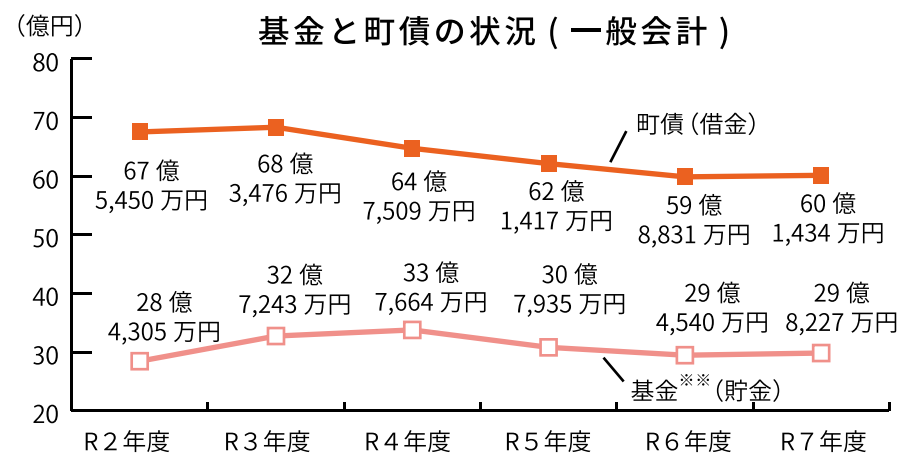
7年度は実質単年度収支は黒字 8年度以降は再度赤字か

令和7年度一般会計は歳入11億6,255万円、歳出10億3,286万円となり、形式収支及び実質収支は黒字です。主な財源である国から交付される地方交付税や、災害復旧繰越事業の前年度分の国庫支出金の増により、単年度収支、実質単年度収支は黒字となりました。しかし、次年度以降、交付税や国庫支出金が減ることも見込まれ、8年度以降は再度赤字になることも予想されます。歳入・歳出の内訳については、町広報10月号を参照ください。

一般会計収支状況の推移 (3ヵ年)

	R5年度	R6年度	R7年度
歳入 (A)	101 億 3,346 万円	106 億 3,271 万円	110 億 6,255 万円
歳出 (B)	96 億 8,797 万円	103 億 5,691 万円	103 億 3,286 万円
形式収支 (C)	4 億 4,548 万円	2 億 7,579 万円	7 億 2,968 万円
繰り越し財源 (D)	2 億 4,088 万円	2 億 2,874 万円	6 億 3,805 万円
実質収支 (E=C-D)	2 億 459 万円	4,704 万円	9,088 万円
前年度実質収支 (F)	2 億 6,132 万円	2 億 459 万円	4,704 万円
単年度収支 (G=E-F)	△ 5,672 万円	△ 1 億 5,755 万円	4,383 万円
基金*積立収支 (H)	588 万円	379 万円	1 億 2,293 万円
基金*取り崩し額 (I)	5 億 1,085 万円	2 億円	0 円
実質単年度収支 (J=G+H-I)	△ 5 億 6,169 万円	△ 3 億 5,375 万円	1 億 7,149 万円

※財政調整基金のみ



※財政調整基金、減債基金、特定目的基金の合計

9月 定例会

あらまし

会期 9/1▶9/17

議案 報告 3件
決算 9件
条例 3件
補正予算 8件
その他 2件
人事案件 2件

議会のながれ

9/1 本会議【開会】
町長が議案を説明。

9/3 本会議 P7
【質疑・委員会付託】
議案について質疑。審査を各委員会へ振り分け。

9/3・4 常任委員会 P8・9
2つの常任委員会（総務・文教）で議案を審査。委員会として賛否を採決。

9/7~9 決算審査 P4・5
特別委員会
令和7年度一般会計について、各課の事業を審査。委員会として賛否を決裁。

9/15・16 本会議【一般質問】
議員が町政全般について質問。

9/17 本会議【閉会】
委員長から審査の経過・結果報告。議案の討論・採決。

決算 審査

336の提言を含む質疑

今後の人口予測は

問 令和7年度に総合長期計画後期計画を策定している。

その中で人口減を予測しているが、何をベ-イスとしているのか。

答 国立社会保障・人口問題研究所のデータを用いている。

問 総合長期計画は何年までの計画か。

答 総合長期計画は10年間で、7年度に策定したのは後期分の5年間で、令和12年度までの計画である。

問 令和12年の人口は。

答 1万人を割って9400人程と予想されている。

ドローン講習の案内を

問 役場職員を対象としたドローン講習を実施したようだが、ドローン講習を受けたという町民がいる。

町民にドローン講習の案内はできないか。

答 人数が集まれば可能と考える。

受講希望の方は、農林振興課に相談いただきたい。



ドローン講習会

結婚祝い旅行券の内容は

問 結婚祝い旅行券の内容は。

答 出会い創出事業に参加し成婚した場合、5万円分の旅行券を贈るものである。

対象者が申請する必要がある。

問 出会い創出事業参加者の、その後の調査は実施しているのか。

答 実施していない。

問 結婚祝い旅行券について周知が必要ではないか。

答 今後、周知に努めたい。

防災備蓄品の現状は

問 熊本地震のような大規模災害が発生した場合に、十分な備蓄はあるか。

答 計画的に備蓄を進めているが、町の備蓄だけでは大規模災害時の対応が難しい。

避難所利用者の2、3日分は備えているが、それ以降は、国や周辺自治体からの支援を見込んでいる。

問 避難所でのプライバシーを守る設備の整備は。



防災備蓄品

ふるさと納税 公社への委託内容は

答 現在は間仕切りでプライバシーを確保できるように備えている。テントについては高額なため、徐々に備えていく。

問 公民館に自主避難する方のために、町の備蓄品を貸し出すことはできないか。

答 現時点で町の備蓄品を貸し出す体制は整っていないが、自主的に備蓄を揃えている公民館もあると聞いている。

ふるさと納税 公社への委託内容は

問 ふるさと納税の経費の中に、まちづくり公社への業務委託費があるが、委託の内容は。

答 町内事業者が新規返礼品を開発する際の相談業務である。

令和7年度は3事業所に対応した。

問 新しい返礼品はできたのか。

答 加工所がないため新規返礼品には至らなかった。

問 新規返礼品はできていないが、業務委託料が発生している。

契約内容を見直すべきでは。

答 8年度は見直し済みであり、費用なしで同様の内容を委託している。

高校生の商品開発 進捗状況は

問 高千穂高校魅力向上の一環として、高校生が企画した地域商品開発の取り組みがあるが、進捗状況は。

答 7年度から3年計画で取り組んでいる。まちづくり公社の協力のもと、地元の食材を使用した商品になると考えている。

問 具体的にどのような商品か。

答 地元食材を使ったピザやホットサンドで進めている。

問 令和9年度から学科の再編があるが、継続できるのか。

答 探究活動で実施しているため、継続して実施可能と考えている。



道の駅での試食会

提言した主な意見

議会では決算審査において各議員から出された意見を集約し、次年度の予算に反映するよう提言をしています。そして予算審査の際は、提言内容が反映されているかどうかチェックしています。



農林振興課

有害鳥獣被害対策については今まで以上に努めること。

農地整備課

災害対策について、今後も町民に負担が生じないよう努めること。

総合政策課

高千穂高校魅力推進事業について、さらに成果が上がるよう工夫すること。

税務課

自主財源を確保するため、宿泊税などの新たな制度の導入を関係課と協議すること。

企画観光課

出会い創出事業の詳細を町内外へ広くアピールし、参加者増に努めること。

建設課

ドローン講習会は、町民にも周知し、委託料が低く抑えられるよう努めること。

総務課

指定避難所の修繕箇所などの状況確認・自主避難所へ防災備蓄品の貸し出しなど、早急な対応を図ること。

財政課

町有財産の売却や、空駐車場貸し出しなど、町民へ周知を行い、財源確保に努めること。

保健福祉総合センター

ふれあい給食サービスについて、職員の雇用も含め、持続可能な運営体制を早急に検討すること。

福祉保険課

児童虐待防止事業など、子育てに不安のある保護者の不安軽減に努め、安心して子育てができる環境づくりに努めること。

教育委員会

高千穂中学校の移転新築を検討しているが、新校舎の完成までの間も、生徒が快適かつ安全に学校生活が送れるよう、適切な修繕を実施し、教育環境の維持に努めること。



松能橋・田口野線

松能橋・田口野線 進捗状況は

問 松能橋・田口野線は、もともと令和7年度で完成予定の計画であった。

長期化しているのはなぜか。

答 宮交バス整備場から農協野菜集荷場の間の整備であるが、下から上げるための盛土をした後に、路側構造物をつくるため、大がかりな工事となっている。現在、令和9年度までの計画としているが、まだ伸びる予定である。

高千穂峡を安全・快適に 落石対策や喫煙所整備を実施

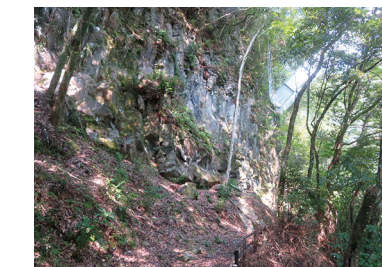
令和8年度一般会計は、3億1238万円を追加し、歳入・歳出それぞれ103億5577万円となりました。歳出の主なものは、松能橋1田口野線などの道路新設改良に伴う工事請負費や、高千穂峡落石対策工事、社会福祉協議会事務所屋根防水工事の他、国の物価高騰の交付金を活用した各種事業などです。

一般会計補正予算の主な内容

道路新設改良に伴う工事請負費	5,702 万円
高千穂峡落石対策工事	2,700 万円
社協事務所 屋根防水工事など	1,282 万円
高千穂町地域公共交通会議負担金	609 万円
全国消防操法大会出場に伴う経費	564 万円
高千穂峡喫煙所設置工事	327 万円
福祉・医療関連機関への支援※	660 万円
学校給食費への支援※	365 万円
がまだせ市場送料補助の予算追加※	123 万円

※国からの物価高騰対応の交付金を活用した事業

高千穂峡遊歩道の落石 撤去と再発防止で安全確保



あららぎ上の落石状況

2700 万円

町消防団 全国大会へ

564 万円



県大会で優勝した第1分団第1部

第一分団第一部は、宮崎県消防操法大会の小型ポンプ操法の部で優勝しました。10月31日に東京で開催される全国消防操法大会に出場します。

老朽化が進む社協事務所 屋根防水工事など修繕を実施

1282 万円

町社会福祉協議会の事務所（老人福祉館）は、1975年に建設されており、老朽化が進んでいます。屋根が漏水していることから、屋根の防水工事と、漏水により腐食が進んでいる天井や屋根裏の修繕などを実施します。

事件 人案 固定資産評価審査委員会 委員の選任に同意

前任者の任期満了に伴い、新たに河内晴彦氏（河内）の選任に同意しました。

任期は令和8年12月1日から令和11年11月30日までです。また、前任者の任期途中での退任に伴い、佐藤則義氏（押方）の選任に同意しました。任期は令和8年12月



かわちはるひこ 河内 晴彦 氏



さとうのりよし 佐藤 則義 氏

固定資産評価審査委員会とは

固定資産税の納税者が固定資産課税台帳に登録された価格に不服がある場合に、町長から独立した中立的な立場で審査・決定を行う機関です。

check! 補正

がまだせ市場で送料補助 ふるさと納税アピールも

質疑背景 国の物価高騰対応の交付金を活用し、がまだせ市場で一定額以上を購入すると、送料無料とする事業を昨年度から実施しており、今回の議会で、予算が追加されました。

問

1月の臨時議会、3100件分、今回の議会で600件分の送料補助の予算が計上されているが、現時点での実績は。

答

昨年度の2月と3月が491件、今年度の7月が324件で、8月分はまだ実績が上がってきていない。

問

発送の際に、ふるさと納税をアピールするパンフレットなどを、入れているのか。

答

ふるさと納税をアピールする絶好の機会と思うので、ミートセンター及び鬼八の蔵と意思疎通を図り、取り組みたい。



がまだせ市場 鬼八の蔵

答

次は10月にチラシを作成し、無線や町ホームページで周知する。

check! 補正

ふれあいバスなど 地域交通の今後は



ふれあいバス

問

地域公共交通計画策定事前調査委託料を減額し、地域公共交通会議負担金の予算を計上しているがなぜか。

答

国の補助事業であるが、国の指導で、町からの委託ではなく、地域公共交通会議から委託する必要があるためである。

問

ふれあいバスについては、財政負担が大きくなって

答

今後、町民を対象にアンケート調査をし、その結果をもとに、新たな計画を策定する。全国の事例では、自家用車を活用した公共交通もある。地域住民の足の確保について、新たな施策を検討し、その上で、利用の少ないバス路線を廃止するなど、収益の改善を図りたい。

check! 補正

高千穂峡に喫煙所を整備 景観への配慮を

高千穂峡喫煙所設置工事327万円について、詳細の説明を。

答

現在、淡水魚水族館の裏側に喫煙場所を設けている。しかし、シャトルバス運行時に乗客がバスを待つ場所と近く、利用者から「煙たい」という声を聞いている。

要望

確かにポイ捨てによる火事のリスクもあるので、喫煙所設置の意義は理解できる。しかし、高千穂峡は国定公園ということもあるため、景観に溶け込んだ喫煙所にしていただきたい。



喫煙所設置予定の淡水魚水族館前

文教厚生委員会報告

文教厚生常任委員会は、町民生活課、福祉保険課、税務課、教育委員会、保健福祉総合センターが所管する議案について審査します。

令和7年度決算額

	歳入	歳出
国民健康保険	16億3,250万円	16億3,051万円
介護保険(保険事業)	17億1,046万円	16億4,672万円
後期高齢者医療	2億3,059万円	2億2,947万円
介護認定	895万円	878万円

令和7年度国民健康保険特別会計の歳入の主なもの、県負担金、国民健康保険税、一般会計からの繰入金です。歳出の主なもの、国保連合会に支払う保険給付費、県に支払う国民健康保険事業費納付金です。

国保

健診受診率、目標に届かず
若年層を重点に勧奨強化を

令和7年度末の被保険者数は24,377人で、前年度比146人の減です。1人当たりの医療給付費は約51万1,000円です。引き続き医療費の抑制を図るため、保健予防活動の推進が求められます。

主な質疑

問 令和7年度の特健診受診率は、

答 約56%で、目標の60%には至らなかった。

問 わけもん健診の受診率は、

答 約22%である。

委員会の意見

若年層への健診受診の勧奨をより積極的に行うよう要望しました。

全員賛成で認定

介護予防に必要な 人員確保を要望



認知症サポーター養成研修

介保

令和7年度介護保険特別会計の歳入の主なもの、国・県・町負担金、第2号被保険者(40～64歳)の介護保険料が原資である支払

基金交付金、第1号被保険者(65歳以上)負担の介護保険料です。歳出の主なものは保険給付費です。

主な質疑

問 認知症に対する支援がますます重要となることを考えると、より人員が必要では。

答 課内の係員の調整を行い、地域包括ケア推進係を増員し、令和8年度からは1人増の体制にしている。

委員会の意見

介護予防の推進のため、採用活動の強化など、適正な職員配置に努めることを要望しました。

全員賛成で認定

後期高齢

集団健診実施で健診受診率が向上

令和7年度後期高齢者医療特別会計の歳入の主なものは、後期高齢者医療保険料、一般会計からの繰入金です。歳出の主なものは、後期高齢者医療広域連合への納付金です。

令和7年度末の被保険者数は27,422人で、前年度末に比べ22人の増となっています。令和7年度から集団健診に取り組みました。

主な質疑

問 令和7年度から集団健診に取り組んだと

全員賛成で認定

総務産業委員会報告

総務産業常任委員会は総務課、財政課、総合政策課、税務課、町民生活課、企画観光課、会計課、農林振興課、農地整備課、建設課、上下水道課が所管する議案について審査しています。



特別会計とは、特定の収入をもとに、特定の事業を行う会計です。
例えば、簡易水道事業特別会計は水道料金をもとに簡易水道事業を行うようになり、町の一般会計とは切り離して行われる会計です。

令和7年度 特別会計 決算認定

簡易水道事業特別会計

ポイント
歳入の収納額合計は、1億1,079万円、歳出の合計は1億673万円で、収支差引406万円となり、このうち335万円を剰余金処分として基金積み立てを行いました。残りの71万円を、次年度に、繰り越すものです。

主な質疑
問 不納欠損があるが、理由は何か。
答 当事者が亡くなられた後、相続人が財産放棄したため。
問 統合後に未納額が生じているが理由は、
答 一つの要因として、統合後の料金の引き上げがある。
委員会からの意見
基本料金だけの家屋が増加していることをふまえ、不納欠損が増加しないことを要望しました。

全員賛成で認定

下水道事業会計

ポイント
下水道事業収益は2億793万円となり、主なものは、下水道使用料金です。
下水道事業費用は1億6448万円で、主なもの、処理場費用などです。
資本的収入は3250万円で、資本的支出は9910万円で、

主な質疑
問 下水道処理施設の耐用年数は大丈夫か。
答 国の補助金を活用して点検を行っている。
問 現状の処理施設は汚泥の再利用可能か。
答 現状の施設ではできないが、広域事務組合が建設する処理施設は可能のようである。
委員会からの意見
施設の劣化が予測されるので、こまめな点検を要望しました。

全員賛成で認定

水道事業会計

ポイント
水道事業収益は1億5332万円となり、主なものは、水道料金です。
水道事業費用は1億3368万円で、主なものは、人件費や委託料です。
資本的収入は、1億2935万円で、主なものは、企業債です。
資本的支出は、1億5423万円で、主なものは、建設費です。

主な質疑
問 料金徴収にあたり、スマホでのバーコード決済はできるのか。
答 ペイペイはできる。
委員会からの意見
料金督促が多くみられるので、口座振替の推進と共に、簡単なスマホ決済の周知を要望しました。

全員賛成で認定

小水力発電事業特別会計

ポイント
歳入において収納済額は、1億159万円で、138万円の増額です。主なものは発電事業収入です。
歳出において決済額は1億158万円で、319万円の増額です。
稼働しはじめた令和6年度の売電収入が10カ月分であったことに、令和7年度は12カ月分に増加しました。

主な質疑
問 売電収益の運用に、は定めがあるのか。
答 農業施設の補助金など、条例に明記している。
問 発電事業収入が目標に届かなかったのは、
答 渇水によるものである。
委員会からの意見
今後も渇水が予想されることから、売電収益の運用は計画的に行うよう要望しました。

全員賛成で認定

一般質問

しんから聞くばい!! 7人が質問

【一般質問とは？】

一般質問は議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育長に対する質問の要旨をまとめ、指定日までに議長に通告します。

1人の制限時間は60分、一問一答方式で町長などの基本方針をたずねます。

町政全般について自由な質問が許された議員の権利で、町民の身近な課題や町政発展に関わる質問を活発に議論しています。

議会だよりは、誌面が限られており、原稿は1人600字以内に制限していますので、町民のみなさまの傍聴をお待ちしております。



さとうたかこ
佐藤孝子議員

問

伝統食の現状と継承についてどのように認識しているか。

町長

少子高齢化により集落によっては伝統的な行事が開催できなくなり、作り方や食文化を知る若い世代も少なくなっていることが課題である。

問

本町を訪れる観光客に、高千穂ならではの食を味わってもらうことは、高千穂の魅力を知っていただく良い機会になると思う。

問

地域の高齢者が持っている昔ながらの料理の作り方や由来、食材について聞き取り調査を行い、レシピや映像、冊子などの形で伝統食を後世に残すための記録、保存をしていく考えは。



煮しめ

町長

伝統食に加えて特産品も同時にPRする機会や、観光客に味わってもらう機会をどう創出するかが重要だと考えている。

教育長

伝統食の継承と地域活性化は継承できる体制づくりに努める

問

学校給食や食育、地域の方々の交流を通じて、次世代に郷土料理を伝えていく考えはないか。

教育長

学校現場では学校給食や学習活動を通じて、保護者には「家庭教育学級」を通して郷土料理や伝統食に親しむ機会を設けている。今後は、学校教育や、社会教育の場面においても体験の機会を増やし、地域の人たちと連携しながら、継続的に継承できる体制づくりに努める。

町長

平成20年に作られた郷土料理、伝統食料理のレシピを上手く活用できないか検討していく。

問

若年世帯転出の状況は。

町長

3月、4月の転入転出者ともに多く、就職、転勤、進学が主な原因と思われる。

問

子育て支援制度の地域格差対策は。

町長

保育料など無償化を望む意見もあるので、国での議論が進まないようであれば、町として取り組む必要があると考える。高千穂町で安心して

問

高千穂高校では令和7年度から全国枠で生徒を募集しており、高校の寮と下宿で受け入れている。しかし、高校の寮と下宿では、保護者の経済的負担や食事の提供状況に違いがある。高校の寮と下宿で同様の負担となるよう、現状以上の支援が必要では。

町長

寮入居者と下宿生との間で経済的負担に差が生じる場合には、その公平性について考える必要があると思う。しかし、限られた財源の中で下宿生への支援を拡充することについては、慎重に判断せざるを得ない。他自治体の事例を参考に、どのような支援が可能か検討したい。



いちのたつひろ
市野辰廣議員

若年世帯町外転出の状況は 町長 転入転出とも3世帯

子育てができるよう、経済的な支援や、相談支援などの環境を整えたい。

問

移住者定住と地元若者の定住対策は。

町長

若者の定住につながる施策の費用対効果を検証し、効果の高い施策に予算を計上していくことも必要と考えている。

問

地域ボランティア受け入れ体制は。

町長

平時より、災害が発生した際に必要となる情報を社会福祉協議会と常に共有し、スムーズな連携が図られるよう考える。

問

町民ボランティアの事前登録制度導入や、平時の研修・訓練の考えは。

町長

即戦力となるボランティアの人材を確保するためには、養成・研修は重要になる。



災害ボランティア

下宿生への支援の拡充を 町長 他自治体を参考に検討



全国からの入学者獲得に向け
東京で高千穂高校をPR

新中学校施設は小学校と共用を 教育長 基本設計の中で検討

問

高千穂小学校隣接地に移転新築を検討している高千穂中学校について、今後の児童生徒数の減少を考えると、体育館やグラウンドは、高千穂小学校との共用や町内の社会体育施設の活用を検討するべきでは。

教育長

小中学校の施設共用については、庁舎内会議においても意見が出ている。体育の授業時間が調整可能か、各部活動の活動場所が確保できるかなど、今年度発注予定の基本設計の中で、検討を行う。



たなかよしのり
田中義了議員

高千穂橋梁修繕 国県の支援は

町長 国はあるが、県はない

問 高千穂橋梁の登録有形文化財の登録により、修繕工事やペンキ塗り替え工事などの事業費と国や県の支援は。

町長 令和5年度に5年ごとの点検により塗装の劣化・腐食、部材や橋脚の改修など300カ所の保守対象を確認した。

橋の塗装工事が1回なら14億円余り、2回必要なら19億円余りかかり、国の支援はあるが県の支援はない。

問 県道から橋梁の取り付け道路や駐車場の事業は今後どうするのか。

町長 他の重要な事業との優先順位を考え検討する。

中学校造成地に支障は

教員長 法令や基準を遵守

問 高千穂中学校の移転先、高千穂小学校地域に活断層はないのか。

町長 公式の資料により調査したが当該地域には活断層はない。

地質調査をして、建築基準法による耐震性を確保する。

問 造成地の地権者との交渉はどうするのか。

町長 今後、予定の基本設計、用地調査、造成地の範囲を決定し、地権者と交渉する予定である。



支庁奥に見える中学校造成予定地

問 造成地は、急傾斜地警戒区域で、法面整形の工事に支障がないのか。

教育長 盛土規制法などの法令や技術的基準を遵守し、適切な設計・工事をする。



さとうはるお
佐藤春男議員

第一次産業を守るには

町長 関係機関と一体で守り抜く

問 高千穂町の農産物の販売高は徐々に減少している。

子牛の生産についてはこの5年間に母牛子牛共に頭数が4分の3程度になっている。昨年3月市より相場は回復したが減少傾向は止まっていない。このままでは年6回の競り市開催は難しくなり「高千穂牛」産地としての生き残りが難しくなる。高千穂町の第一次産業をどう守っていくのか考えは。

町長 本町の農業・畜産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。

まずは、高千穂市場を守ることが、高千穂ブランドを守ることだと考える。



町長 関係機関と協力し役割を果たす

取り組みとして従来の事業に加え地域ブランドの価値向上や販路拡大に力を入れ農業所得向上につなげていく。高千穂町の農畜産業を次の世代に繋いでいくことは、地域を守ることである。産地の将来に危機感を持ちながら関係機関と一体となって生産者を支え、高千穂町の一次産業を守り抜くという決意で取り組む。

問 災害時の「自助」「共助」「公助」の考え方は。

町長 広域大規模災害が発生した場合、災害の被害をできるだけ少なくするためには、一人ひとりが自ら取り組む「自助」や、地域や身近なひと同士が助け合って取り組む「共助」、また、地方自治体が取り組む「公助」が重要だといわれている。

その中でも基本となるのが「自助」であり自らの命は自らが守る意識を持ち、「共助」「公助」へつなげて行くことが大事である。町としては、引き続き町民の生命・身体・財産を災害から守るため関係機関の協力を得て、防災対策の責務者として役割を果たす。



いそがいすけお
磯貝助夫議員

駅通り線の検討状況は

町長 検討会で進めている

問 駅通り線の環境整備について、令和6年第1回定例会で質問した際に、西臼杵支庁と協議し検討するとの答弁であったが、その後検討されているのか。

町長 その後、令和7年12月に県道北方高千穂線駅通り検討会を設立し、これまで2回開催しており、整備方針について議論が進められている。

今後は、その方針に基づき、住民説明会や、皆様の意見を反映しながら整備を進めていくことになると思う。



駅通り線

問 令和9年8月26日から開催される、第13回全国和牛能力共進会北海道大会に向けての準備は進んでいるか。

町長 全国和牛能力共進会は、「和牛のオリンピック」とも呼ばれる国内最大級の和牛の祭典であり、和牛の魅力や改良成果を全国に発信する絶好の機会である。

出品農家は、日々の飼育や調整に取り組んでおり、JAを中心に関係団体、関係機関が連携し、良い成果を目指し準備を進めている。

問 畜産業も後継者不足であり、後継者の育成強化を図る必要がある。

畜産に興味のある若者たちを派遣・見学させる企画はできないか。

町長 実際に見学することは、畜産業の魅力や将来性を肌で感じる貴重な機会となり、意義あるものと考えている。

見学機会の提供だけでなく、研修や体験活動の参加を後押しする支援制度も有効であると考えている。

問 テレビ高千穂で準備段階から本番までの放映はできないか。

町長 記録として残すことは重要であり、検討する。

問 各地で行った議会報告会において、町民より有害鳥獣被害について複数の意見を頂いた。

有害鳥獣駆除にあたり、捕獲班員の確保は重要であるにもかかわらず、免許所有者は一定数いるが活動されていない方々もいる。報償金はどのように算出しているのか。

町長 近隣自治体と合わせている。

問 捕獲班の方々の個人差はあるが、それぞれ1日あたり10km〜100km程見回りを行い、捕獲の情報があると、昼夜問わず駆けつけなければならない。

燃料代などは報奨金に反映するべきでは。



町長 関係団体と協議してみる。

町長 明確には反映していないが、必要経費の扱いになる。

問 緊急銃猟の必要性が生じた場合、狩猟担当区域外の人材を必要とすることもある。

柔軟な対応ができるようにならないか。

問 武道館の改修により代替施設となる中央体育館は7月1877人、8月1592人、弓道場は両月とも600人弱の利用者がいた。

猛暑の中、扇風機さえも対策はできないものか。

町長 今後に向けて対応を検討する。

問 国保病院駐車場にある思いやり駐車場ゾーンを明確にして、必要な方が利用できるようにする考えは。

町長 広域医療センターの方で、計画中的なことである。

公園化保留後の高千穂鉄橋は 登録有形文化財へ登録

鉄道公園 特別委

事業の保留表明後、文化財としての保存を検討し、文化財の調査を打診していたが、令和7年1月30日に調査が行われた。

文化庁より2人が来町し、高千穂鉄橋の現地視察及び調査が実施され、令和8年7月9日に登録有形文化財として、登録された。

執行部としては、町の人口減少を見据え、官民連携で基金を設立し、今後の維持管理を行いたいとの説明がされた。

執行部からの説明

鉄道跡地公園化事業については、令和5年3月定例会において、「町民の理解不十分で予算執行は尚早」とし、一部関連予算を議会において削除しました。

その後、鉄道公園化に関する特別委員会を設置し、調査を継続しています。

令和8年9月17日に7回目の特別委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

主な質疑

問 鉄橋の塗替えにかかる費用は。

答 既存塗装の剥離が1回ですむなら14億円、2度必要であれば19億円程度と見込まれている。

問 塗替え後は何年保てるのか。

答 20年ほど保てると思われる。

問 基金の詳細はどのような計画なのか。

答 塗替え、修理の両方を基金から支出とし、基金の原

鉄道公園化に関する特別委員会の経過

<第1回 令和5年5月19日>

事業内容の明確化、町民の理解は得ているか、巨額の財政負担をどうするかなど、鉄道跡地の課題について協議し問題点の整理を行う。

<第3回 令和5年12月22日>

サウンディング調査（自治体が公共用地の活用について民間業者から広く意見を聞く調査）の内容について説明を受け、文化財として保存する検討についても意向を示す。

<第4回 令和6年3月4日>

サウンディング調査に参加した業者の意見内容や、文化財としての保存について、文化庁と協議したいとの意向を示す。

公園化事業の一旦保留を示す。

<第6回 令和8年3月5日>

文化庁への訪問の内容及び、有形文化財としての登録予定期日について報告を受ける。



登録有形文化財に登録された高千穂鉄橋

答

5年おきに実施しており、前回は令和5年に行い、健全度Ⅱ（予防保全の観点から、塗装塗り替え等の対策を講じるこ

とが望ましい段階）と判断された。

問

鉄橋の点検はどれくらいの期間で行われるものか。

資は、国の交付金補助金の利用、鉄橋使用者、乗客からの協力金などを想定している。

参加者数		
6月30日	上野出張所	13人
7月6日	役場大会議室	31人
7月7日	岩戸出張所	11人
8月18日	田原出張所	68人

とどけ町民の 議会報告会



上野出張所



岩戸出張所



役場大会議室



田原出張所

- 中学校について**

 - ・中学校建設地が決まったことに感謝。
 - ・なぜ一度は候補地から漏れた高千穂小学校隣接地が、移転候補地に選ばれたのか説明を。
- 農業について**

 - ・有害鳥獣被害が深刻化している。
 - ・捕獲の補助金増を。
 - ・子牛価格は回復してきたが、経費高騰で手取りが増えないため、補助金の増額を。
- 議員定数について**

 - ・報酬と定数を結び付けることはおかしい。
 - ・議員定数は13人を維持してほしい。
- その他**

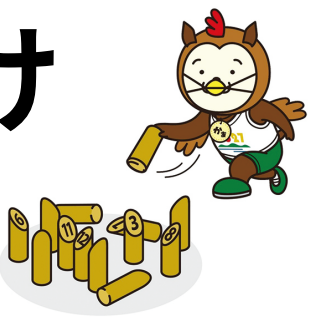
 - ・新しい道の駅の構想で運動公園が一部つぶれる可能性があるとのことだが、運動公園は桜の名所であり、それがなくなるのは反対。
 - ・町道清掃について、高齢化や人口減少で厳しくなっている。
 - ・ふるさと納税を、もつとのばせないか。
- 道の駅構想について**

 - ・日本一の道の駅を目指してほしい。
 - ・新しい道の駅やまちなか複合拠点施設の構想があるが、財政面は大丈夫か。
- その他、多数の意見を頂きました。ありがとうございます。**

参加者の声ピックアップ



国スポ開催に向け 議会も機運醸成



来年、令和9年に、第81回国民スポーツ大会（国スポ）及び第26回全国障がい者スポーツ大会（障スポ）が、宮崎県で開催されます。高千穂町においては、デモンストレーションスポーツのモルックが令和9年5月30日に折原グラウンドで、正式競技の剣道が、令和9

年10月3日から5日にかけて武道館で開催されます。

国スポの機運醸成に取り組むため、9月議会の初日と最終日に、高千穂町国スポオリジナルポロシャツを着用しました。

高千穂町民で一丸となって、大会を成功させましょう。



「ひなたのチカラポーズ」で大会を盛りあげよう



役場の議場の窓でも、国スポをPR



各議席には、ミニのぼり旗を設置



議会運営委員会

議会構成

議会運営委員会

新体制がスタート

議会運営委員会委員長を務めていた工藤博志議員の入院療養に伴い、富高健一郎議員が新たに委員長に就任しました。

議会運営委員会とは、会期や議事日程、運営ルールなどを協議し、議会を円滑かつ公正に運営するための調整を行う、議会運営の中核となる委員会です。

読者の ひろば

記事内容が多すぎる

記載内容が多すぎて、すべてに目を通すのが大変です。

（60代 女性）

ご指摘ありがとうございます。

議会報は、定例議会終了後に議会で審議した内容や、一般質問における質問・答弁内容などになるべく簡潔にお伝えしようと紙面構成をしております。

ご指摘の意見も参考に、皆様に興味を持って読んでいただけるよう、魅力ある紙面づくりに取り組んでまいります。

獣害対応策の現状は

中山間地域における獣害は年々深刻になっているが、対応策は検討されているのか。

（60代 男性）

獣害に対しては、令和7年・8年と連続して農林水産省へ「捕獲報奨金」の増額などを要望しております。

町当局に対しても、予算に対する付帯意見として、狩猟免許取得の促進、罟・銃購入補助金の増額、報奨金への税金免除など有害鳥獣対策の強化を強く求めました。

地域の現状把握を

国・県への要望は地方の現状を把握したうえで要望してほしい。ふるさと納税は中山間の町村で稼いでいる先進地を研修しては。

（60代 男性）

国・県への要望は機会あることに行っていますが、現状の把握については、不足していることもあるかと思えます。

先に行われた議会報告会での意見なども踏まえ要望活動を行ってまいります。

多々あるご意見は、全議員が積極的に対応いたしますので、地元議員に限らずご提言下さい。

ふるさと納税に対しましては、先進事例も参考に視察を検討してまいります。

表紙写真にたくさんのご応募ありがとうございました。

今回は4人4点の応募の中から厳選して紹介させていただきました。



「敬老会で歌う子どもたち」

T・Kさん（上野）



「上岩戸の雲海」

T・Sさん（上岩戸）



「夜空に輝く大イチョウ」

あんざいあゆみ
安在歩さん（河内）

皆様からのお便り、表紙用写真をお待ちしております。

● 郵送
〒882-1192
宮崎県西臼杵郡高千穂町大字三田井 13
高千穂町役場 議会事務局

お便りの様式は特にありません。
郵送、FAX、メールのいずれかの方法でご応募ください。
また、表紙用写真については応募規定がありますので、詳細については町のホームページか、右のQRコードをご参照ください。

● FAX 0982-73-1230
● メール gikai@town-takachiho.jp



表紙写真募集の詳細はコチラへ

WELCOME!!

人手不足が進む中、技能実習生として多くの外国の方が働いています

ようこそ高千穂へ!



Q 高千穂へ来てどれくらい。
もうすぐ1年です。

Q 高千穂に来た経緯は。
自国で3年間職業訓練と日本語の勉強をして来日しました。

Q 出身地は。
ミャンマーです。

Q お名前は。
ミンツです。

Q 今回、レストランで働く技能実習生にお話を伺いました。



ミンツさん



Q 高千穂の印象は。
静かでとても住みやすいと思います。
周りの人たちも親切です。



接客するミンツさん

Q 休日の過ごし方は。
部屋の掃除をしたり、日本語の勉強をしています。

Q 将来の夢は。
接客や、料理の技術を学び本国で食事をする店を開きたいと思っています。

店長に伺いました

近年、西臼杵管内で働く若手の人材不足は深刻な問題となっており、その影響は少子高齢化や人口減少にも繋がっていると感じています。

当施設では人材不足解消のために、昨年8月より外国人雇用に踏み切り、ミャンマーの仲間と一緒に業務を進めています。

とても真面目で「働くことの喜び」や「情熱」が感じられ、その姿勢には私自身も学ぶものがあります。

今後、知識や技術を習得してもらい自身の夢に向かって頑張ってほしいです。

恵まれた環境で生産された「地域ブランド・高千穂牛」を守るうえで、彼女が存在は大きく頼もしさを感じます。

編集後記

第13回全国和牛能力共進会北海道大会が、令和9年8月26日から開催されます。

先人の遺した「高千穂牛」の血統を、繋いできた「育成技術」を以て若い世代が挑戦します。

代表決定まで応援をお願いします。

(H・S)

発行責任者

議長 本願和茂

議会報編集委員会

委員長 市野辰廣

副委員長 板倉哲男

委員 佐藤さつき

委員 佐藤孝子

委員 佐藤春男

委員 桐木敏隆

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は11月24日開会予定です。

傍聴の申し込みは、
お気軽に議会事務局に
お尋ねください。

TEL 73-1219

(議会事務局直通)